

なかがわ

歴史散歩

江戸時代 山田村庄屋 高橋善蔵の足跡を巡る

那珂川市郷土史研究会

日 時 9月 9日(土曜日) 集合 12時15分

出発 12時30分～帰着 16時00分頃

集合場所 ミリカローデン那珂川 エントランスホール

参加費 500円(保険代含む)

■現地バスツアー

高橋善蔵は、江戸時代の山田村(現在の那珂川市)に生まれました。飢饉で苦しむ福岡藩の財政改善を藩とハゼ栽培とハゼロウの製造販売で行い成功しました。

現地バスツアーは、高橋善蔵のハゼ栽培した現地や藩のハゼ仕立所、善蔵の顕彰碑、善蔵墓所を巡ります。

① 高橋善蔵の墓所(1684年～1761年)享年78歳

善蔵は、晩年病に臥し長男常次に「櫛実遺言」を書きハゼの生育・栽培法を伝えました。藩は同書を『窮民夜光の珠』と題し、筆写して藩の庄屋40人に配りました。これによりハゼ栽培は、藩内に一気に拡大しました。

② 善蔵の菩提寺と村の顕彰碑

高橋善蔵のハゼ栽培によって山田村は、村人の暮らし家産繁殖して延享3年(1746年)頃にハゼは成長し、櫛の僅か十分の四で税を収納、村民は富栄え那珂郡の冠たる地位となり、村民は顕彰碑を建てました。

③ 善蔵の生家と盟友吉田栄年・保年の屋敷跡

善蔵の生家跡と盟友吉田栄年(まさとし)、保年(やすの)の岩門荘別宅「吉田屋敷」跡を車窓より見学します。

④ 大野城市恵比寿神社境内の高橋善蔵顕彰碑

顕彰碑は、高さ2.7m、巾70cmで明治19年(1886年)10月、福岡県知事安場保和の謹書が彫られている。知事は、「善蔵その人のごときは聖世嘉賞するところ」と云い、読む人は感発せよと述べています。



お問合せ先 那珂川市郷土史研究会

☎ 090(4772)7873

(火～金曜日 10:00～15:00)

ガイド : 那珂川市郷土史研究会